

\*\*\*\*\*  
第51号 2011年9月10日

# 税制懇ニュース

\*\*\*\*\*

発行所

全国税制懇話会

〒169 東京都新宿区百人町 1-16-18  
-0073 センチュリービル 2F

東京税財政研究センター内

☎03(3360)3871 FAX03(3360)3870

## 2011年 税制懇秋季全国研究集会 名湯・箱根湯本で 湯ったり学びませんか

= 10月16日(日)～17日(月)「箱根路 開雲」=

2011年秋季全国研究集会は10月16日(日)～17日(月)、箱根湯本温泉郷「四季の宿 箱根路 開雲」にて開催します。宿の前は早川の支流・須雲川の清流が流れる絶好のロケーション。お湯も最高です。素晴らしい環境の中で、湯ったり気分で学びませんか。今回は東京ブロック主催です。多数のご参加、お待ちしております。

四季の宿  
箱根路 開雲  
箱根・湯本温泉郷



### 開催概要

2011年秋季全国研究集会の開催概要をお知らせします。

日時・概要 10月16日(日)～17日(月)

☆第一日目 13:00～17:00 研究集会

メイン講演

海外視察報告

税務の現場からの報告

18:00～20:00 夕食・懇親会

☆第二日目 09:00～11:00 研究集会

会員の実践報告 2～3例

11:00～12:00 全国理事会

### 新入会員紹介

よろしく 新しい仲間です

2010年9月以降の加入者紹介

志形 明秀さん(近畿) 9月3日入会

大城 謙さん(沖縄) 5月6日入会

岸森 彰さん(九州) 5月20日入会

荒木 茂人さん(関信) 7月21日入会

本田 秀行さん(北海道) 8月22日入会

佐々木隆夫さん(東京) 9月1日入会

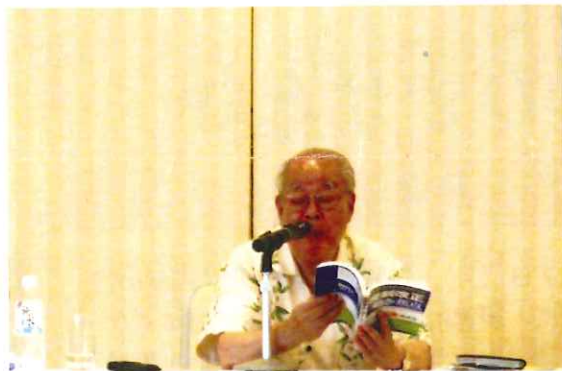
※佐々木さんの入会で、税制懇会員数は245名となりました。



# 84名の仲間が沖縄で交流

## オフションの基地めぐりも好評、34名が参加 11年沖縄研究集会・23回総会の報告

2011年税制懇春季研究集会・第23回総会は、さる6月5～6日沖縄北谷の「ザ・ビーチタワー沖縄」にて、全国から84名の参加を得て成功裏に終わりました。



講演中の山本守之先生（沖縄集会）

### ◆守之先生の講演に共感

初日、山本守之先生の「平成23年度税制改正の概要」と題する講演は、単に改正内容を羅列的に説明するのではなく、問題点等をしっかり指摘しながら、ただすべきことは正せと主張する話しぶり。いつもながら共感が広がりました。

続いて、国税の職場でたたかっている全国税労働組合や税務現場の実態、税務行政の現状などが全国税労働組合の田山書記長から、リアルに報告されました。  
〈以下、3面へつづく〉

< 1面より開催概要のつづき >

◇場所 箱根湯本温泉郷「箱根路・開雲」  
〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 521  
TEL 0460-85-6678

### ※アクセス

新幹線・小田原駅で小田急線に乗り換え、箱根湯本下車。徒歩10分位（下図参照）。

車で関西・東海方面からの場合は、東名御殿場インターから箱根路へ、東京方面からの場合は、東名厚木から小田原厚木道路へ乗り換えて終点の箱根口インターを出るとすぐ。

◇参加費 19,000円  
内訳 宿泊費 16,000円  
資料代 2,000円  
講師代 1,000円

◇規模 100人

### ◆メイン講演について

講師は経済評論家の熊澤通夫先生。「東日本大震災と日本経済」をテーマにお話しいただく予定です。

### ◆実践報告等について

- ① 「ベトナム」視察報告  
報告者 浅井優子会員（東京）
- ② 「取得費をめぐる訴訟（最高裁へ）」  
報告者 粕谷幸男会員（東京）  
－不動産相続に伴う遺産分割に関する弁護士費用－
- ③ 「税務調査の特徴とその対応」  
報告者 本川國雄会員（東京）

■電車をご利用の場合  
○新宿→小田急ロマンスカー(所要時間85分)→箱根湯本駅下車徒歩8分  
または、湯本旅館組合巡回バス(Aコース湯通り方面:片道100円)

■お車をご利用の場合  
○東名高速厚木I.C.→小田原厚木道路→箱根口I.C.(所要時間30分)  
○東名高速御殿場I.C.→国道138号線→宮の下→湯通り(所要時間40分)



## 新年度の 税制懇の役員体制



福田悦雄理事長

### 〔三役体制〕

理事長 福田悦雄（東京）  
副理事長 浅井優子（東京）  
角谷啓一（東京）  
林 伴美（東京）  
宮澤義雄（関信）  
事務局長 青木輝光（東京）

顧問 坂内直治（東京）、坂本良雄（東京）  
山本守之（東京）、吉本 貢（東京）

〔全国理事：ブロック別〕※冒頭の太字がブロック代表

北海道 田上詔美、阿部克己、清水憲之  
東北 佐々木正彦、板垣征夫、三品貞夫  
関 信 宮澤義雄、生澤壮介、小田川豊作、土屋  
信行、西尾三雄、古島孝幸  
東京 福田悦雄、青木輝光、浅井優子、飯島健

夫、大野寛、角谷啓一、古味久司、近藤  
勝美、鈴木昂、永沢晃、林伴美、本川國  
雄、吉川幸三郎、渡辺桂子

東 海 栗原幸夫、川崎隆也、高見満、中村拓己、  
渡瀬富治  
近 畿 堂本道信、宇野敏彦、岡本毅一、中道修、  
西田澄枝、堀江昇司、森村篤二、山道俊  
北 陸 中西良彦、先田守、平野豊  
中 国 石原大之、後藤信三  
四 国 増田裕、乃口健一  
九 州 荒尾壽味雄、山本友晴  
沖 縄 高良正一、嘉陽宗盛、前川敏光  
幹 事 矢野喬（東京）、大塚祐成（関信）

〔常任理事及び任務分担〕 ※冒頭の太字が責任者

総務・財務—青木、飯島、大野、鈴木  
企画・組織—宮澤、西尾、古味、永沢、吉川、栗  
原、堂本  
広 報—角谷、浅井、生澤、近藤  
研修・講師—林、小田川、古島、本川  
国際 部—福田、渡辺

< 2面上部よりのつづき >

### ◆懇親会、盛り上がる

初日の夜は、例によって参加者全員による夕食を兼ねた懇親会。税制懇の強みは、北は北海道、南は九州・沖縄まで全国各地からの参加があること。懇親会のスピーチでは、各ブロックの自己紹介やら活動の様子が方言も交えて報告され、大いに盛り上がりました。

### ◆会員による三つの実践報告

最終日は、各会員の実務体験に基づく「実践報告」が三つ。

第一は不適切な税務行政に対する有効な対抗手段として、「苦情申立書」で成果を上げた事例（東京・角谷会員）。

第二は数名の仲間と共同して税務行政等の情報公開を求める活動を、全国規模で10年にわたって進めてきた体験（東京・桑原会員）。

「激震、神戸からの発信」と題して、阪神淡路大震災の経験をもとに、税制面での震災復興に向けた貴重な提言（近畿・岡本会員）。

これらの発言について、「報告時間が短すぎた」

との声もありましたが、「実務に活かせる内容だった」と、全体として好評でした。なお、今回の実践報告の一部については、税制懇ホームページで公表しました（「全国税制懇話会」でアクセスできます）。

### ◆11年度の定時総会開催

研究集会の終了後、「税制懇、平成11年度の定時総会」が開催され、新年度の行動計画、決算・予算、新しい役員体制が承認されました。なお、役員体制については、別掲のとおりです。また、税制懇ホームページにも掲載します（「全国税制懇話会」でアクセスできます）。

### ◆34名が沖縄基地めぐりに参加

今回の沖縄集会ならではの特徴は、オプションとして計画した基地見学のバスツアー。「平和・学習 基地めぐり」と題したこのツアーは、沖縄ブロックの高良会員の紹介による「沖縄平和ネットワークの協力によって実現できたものです。34名が参加、同ネットワークの「勝保明久氏のガイドが大変良かったので、感動した」と、なかなかの好評でした。



# ベトナム訪問で思ったこと

## 税制懇 海外実践税制視察のご報告

今年6月、税制懇の海外税制視察として15名がベトナムを訪問しました。現地において、日本では国税庁長官に相当する「ベトナム国税総務局局長」が税制懇の視察団（団長：青木輝光税制懇事務局長）に対応しました。以下、浅井優子会員のベトナム訪問レポートです。

### 遅れている 中小企業の進出

浅井優子会員（東京ブロック）

旅程は6月12日（日）～18日（土）の1週間、参加者は青木輝光団長以下15名。年齢構成からして今回の視察旅行に、「若かりし頃ベトナム反戦を闘って、その後の社会主義国ベトナムの現状を知りたい」という思いを込めたのは私ばかりではなかったと思います。

ベトナムの国土面積は、日本の90%、人口は約8400万人。ハノイとホーチミンで、国税総務局（局長以下7名が対応）、地区税務署（2名が対応）、ベトナム日本友好協会（専務理事）、企業訪問2社、（株）文化シャッター、コトブキシー

ティング（株）などを視察しました。

第一の感想として税制と執行体制の整備では、同じ品物の価格、例えば5ドルの品物が3ドルだったり7ドルだったりするという現状は、所得税や消費税の執行の在り方が容易ではないという実感を持ちました。行政面では相当なワイロが必要とされる実態を、訪問した2社の責任者が語っていました。第二に中小企業の海外進出についてでした。ベトナム日本友好協会の専務理事の方は、「大企業からの話はあるが今まで中小企業からはない」と語っていました。



浅井優子会員

交通法規は何のその。道路に溢れるようにスピードを上げて走り去るバイクには、3どころか小さな子供を親の間に挟んで4人の家族が小さなバイクに納まっている状況を見ながら、超高齢化社会を迎える日本は将来に向かって、アジア諸国との友好関係を積極的に築く必要があると思いました。その一つとして、中小企業の海外進出は重要な意味を持つように考えさせられました。ベトナムに来て見て思ったことでした。



世界自然遺産のハロン湾にて 最も美しいといわれるスポットにて